

【基本的運営方針】 A 優れた作品の収集と保管

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
コレクションの活用状況	コレクションの稼働率	10.0%	13.6%	136.0%	C	・常設展・ホール・野外での常設(常設展は年3回展示替えあり)のほか、教育普及事業において活用を図った。 ・その他、アートカードを用いたコレクションの学習機会の提供(学校に出向き授業の中で活用)。
	所蔵作品を他の美術館企画展で活用					・貸出状況4点:近代美術館(深井克美の作品2点)、さわらび会(松本春子の作品1点、松本暎子の作品1点) ・アートギャラリー北海道の連携施設への貸出について、提案を行いつつ、受入側の管理面などにも配慮しながら検討が必要。
コレクションの充実度	収集方針に基づき、主体性を持ち積極的に収集活動を行う				C	・購入0点、受贈(予定)33点:油彩23点、水彩画5点、書4点、彫塑1点。 ・引き続き、地域の所蔵者との密接なコミュニケーションを図りながら、受贈での収集に努める必要がある。 ・「文字と記号に関わる現代美術」のテーマについては、寄贈の可能性は低いことから、現在活躍中の作家や近年亡くなった作家の遺族とのコミュニケーションを深めることなどにより、収集につなげていく必要がある。
保管状況の適切さ	適正な保管環境を保持し、必要な調査に基づき措置を行う 計画的に所蔵作品の修復を行う				b	・作品保全のため、作品保管棚の増設、車輪付きの彫刻作品用保管ボックスの設置を行い、床に直置きの状態であった絵画や彫刻を床からかさ上げされた棚に納め、ほこりや虫などの影響から遠ざけるとともに、清掃もしやすくなり、収蔵庫内の保管環境が改善された。 ・野外彫刻(1体)について、開館以来初めての修繕を行い、開館当時の美しさが戻った。 ・定期的な作業として、月に1度の虫害トラップの設置と捕虫状況の確認、年2回の収蔵庫の清掃、荷解室入口、収蔵庫入口、トラックヤード上がり口への粘着シート設置などを行った。 ・今後も寄贈等により作品が増えていくことを踏まえ、計画的に作品保管棚の整備を行うとともに、開館以来清掃を行っていない別の野外彫刻(1体)の清掃について計画的に行う必要がある。

【基本的運営方針】 Aの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	作品の貸出については、アートギャラリー北海道の連携施設へ提案しつつ、受入側の状況に配慮しながら検討が必要。 作品の収集については、所蔵者との密接なコミュニケーションを取りつつ、作品の保管や修繕については計画的な整備が必要。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
常設展示の充実度	常設展示観覧者数(人)	18,000人	17,794人	98.9%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数、満足度とも目標を下回っている。特別展観覧者の4割強が常設展を観覧しておらず、何らかの工夫改善が必要。 ・展覧会別満足度は、「ふしぎの国のいきものたち/金子鷗亭ふるさと・北をうたう」59.2%、「たべもの×アート=おいしい関係」60.0%、「東洋の美/鷗亭先生、ヨーロッパへ行く」90.9%。 ・リピート率は目標を上回っている。
	常設展示観覧者の満足度(%)	69.5%	62.3%	89.6%		
	常設展示のリポート率(%)	61.6%	63.0%	102.3%		
特別展示の充実度	特別展示の観覧者数(人)	25,000人	29,253人	117.0%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な年代の興味・関心を高める展覧会企画により、観覧者数、満足度とも目標を上回ることができた。 ・展覧会別満足度は、「道南四都物語展」81.8%、「ダリ版画展」89.7%、「東海道五拾三次展」100%、「ケータイ絵文字展/文字と記号」80.0%、「岩船修三展/水辺のものがたり」100%。今後、展示内について継続的な工夫の模索が必要。 ・リピート率は目標を下回っている。
	特別展示観覧者の満足度(%)	89.5%	91.4%	102.1%		
	特別展示のリポート率(%)	66.5%	59.1%	88.9%		
入館者の拡充	美術館の魅力を広め入館者増につながる取組の実施				b	<ul style="list-style-type: none"> ・当館単独での取組に加え、五稜郭地域の文化施設やアートギャラリー北海道連携施設等と連携した事業や割引を実施し、来館者数の底上げを図った。 ・今後も、五稜郭地域の文化施設及びアートギャラリー北海道連携施設等との連携事業等を継続し、相互に地域全体の魅力をPRし、来館者の底上げにつなげていくことが必要。
展示の状況	展示のねらいが効果的に表現できているか				b	<ul style="list-style-type: none"> ・アートギャラリー北海道連携施設の貴重な文化財の展示に合わせたイベント(切声、江差追分、松前神楽コンサート等)の実施のほか、絵文字になぞらえて木のキューブで遊ぶコーナーの設置や連携協定を結んでいる大学の協力による映像インスタレーション展示等により、展示内容の魅力を効果的に伝えることができた。
館外展示の充実度	移動美術館入場者満足度	設定なし	設定なし		c	<ul style="list-style-type: none"> ・他者主催の展覧会に当館所蔵の作品を展示。 ・アートギャラリー北海道連携施設への作品貸出については、連携施設の受入体制に配慮しながら検討が必要。
	その他の館外展示の状況					

【基本的運営方針】 Bの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	テーマを踏まえた展示の工夫、展覧会に関連づけた教育普及事業の充実などにより、新規観覧者の拡充につながっている。特別展と常設展の観覧者数に大きな差が出ており、特別展観覧者の常設展への興味・関心を高める工夫が必要。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
教育普及事業の充実度	教育普及プログラムの実施数	101回	109回	107.9%	a	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会の内容に応じたワークショップやコンサートのほか、家族連れを対象にしたファミリー・ツアー、一般向けのギャラリー・ツアーなど、子どもから大人まで様々な世代を対象とした事業を企画し、多様な学習機会を提供した。 ・館外においても、美術館と地域の文化施設等をめぐるツアーを実施など、多彩な内容により、参加者の興味・関心を高め、参加者数、満足度とも目標を達成。 ・新たな取組として、美術館と道南の名所・旧跡を学芸員同行でめぐるバスツアーのほか、五稜郭地域の文化施設との連携による特別展に関連するスタンプラリーを実施し、観覧者増につなげることができた。
	教育普及プログラムの参加者数(人)	10,440人	18,115人	173.5%		
	教育普及プログラムの満足度(%)	92.5%	99.2%	107.2%		
	教育普及事業の状況					
美術情報提供の充実度	ARS、図書コーナーの利用者件数	1,476件	1,829件	123.9%	a	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設計上、図書コーナーが独立しておらず、スペースも限られており、十分な情報提供ができていないため、利用者数が少ない。 ・ホールや展示室内に展覧会関連図書の閲覧コーナーを設け、自由に図録等を閲覧できるよう工夫している。 ・展覧会や教育普及事業の積極的な掲載により、アクセス数が向上している。 ・函館市文化・スポーツ財団発行のイベント情報誌「ステップ・アップ」年12回、函館の情報誌「peeps hakodate」特集として2回 ・週1回、職員全員輪番により、教育普及事業の案内や実施状況等をFacebookに投稿。追加があればその都度投稿。 ・上記以外では、道民カレッジ連携講座、HAKODATEまなびっと広場に各種事業を登録。また、報道機関(新聞社、テレビ局、ラジオ局)へのPRを行い、積極的な報道協力を得ている。 ・五稜郭地区の文化施設を訪れる外国人を含む観光客への情報発信が必要
	ARS、図書コーナーの利用者満足度(%)	67.5%	73.4%	108.7%		
	多くの来館者が利用できる図書コーナーの環境整備・保持					
	HPアクセス件数	65,859件	139,410件	211.7%		
	メールマガジン等発行回数	12回	14回	116.7%		
	ソーシャルメディアの投稿数	52回	73回	140.4%		
	情報発信の状況					

【基本的運営方針】 Cの評価

評価	コメント(評価の考え方)
A	教育普及事業の充実については、展覧会の内容に応じた多彩なプログラムの実施により、高い成果が得られている。ホームページやFacebook等を活用した情報発信や閲覧コーナー設置等により、美術館情報の発信についての充実度が高い。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 D 活動の基礎となる調査・研究の推進

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
調査・研究の充実度	学芸員による調査報告				C	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究に基づく、館外での講演(市内1件、海外1件)、著述の書籍化(共著1件)行い、成果をあげることができた。 ・田辺三重松の資料作品の整理、池谷文庫の資料の登録・整理を進めた。
	二次資料の状況					

【基本的運営方針】 Dの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	調査研究の成果として展覧会の企画の工夫が実現しており概ね目標を達成している。 個人研究分野の実現についても一定の成果をあげている。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 E 地域文化の振興

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
地域の関係機関との連携状況	ボランティア団体等の主体的な事業の参加者数	281人	301人	107.1%	b	・展覧会ごとに開催する美術研修会(5回)、ボランティア研修会(1回)に美術館職員が講師として参加し、会員個々のスキルアップを図っている。 ・高校生を学校の地域貢献学習の一環として受け入れ、教育普及事業の運営補助に協力いただいている。
	ボランティアが活動しやすい場の提供					・日常的な指導・助言、役員との綿密な打合せ、協働企画などを積極的に推進。 ・今後も高校生の地域貢献学習について学校から要望があれば、引き続き協力していく必要がある。
	地域と連携した取組の状況					・事業の運営や講師等に地域の人材が関わり、活躍の場として提供することができた。 ・新たな取組として、五稜郭地区の文化施設との連携事業(スタンプ・ラリー)や地元企業等との協力により木育とのコラボイベントを行った。 ・地域と連携しながら、外国人観光客の受入体制(ボランティアの導入等)の整備検討が必要。
学校との連携の状況	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	1校	1校	100.0%	a	・北海道教育大学函館キャンパスのみ。 ・利用者増への取組と新たな提携先の掘り起こしが必要。
	出張アート教室の延べ参加者数	102人	66人	64.7%		・1校(渡島管内の小中併置校)で実施(事前・事後授業含む)。
	指導者研修の延べ参加者数	22人	97人	440.9%		・指導者研修(夏休み・冬休み)、鑑賞研修(5回)の参加者数
	学校教育活動への対応数	20件	32件	160.0%		・小学校:解説2件、出張授業1件 ・中学校:解説11件 ・高校:解説6件、地域探求学習3件、ワークショップ等2件 ・大学:博物館学講座1件、企画展への参画2件、研究成果発表1件 ・その他:鑑賞学習用支援ツール(道南版アートカード)を活用した授業3件
	参加者・利用者満足度					・出張アート教室は、実施校から高い評価を得ている。 ・鑑賞研修は、参加者の満足度が高く、実施を望む声も多い。

【基本的運営方針】 Eの評価

評価	コメント(評価の考え方)
A	地域・学校との連携・協働については、積極的な働きかけや活躍機会の提供等により高い成果をあげている。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 F 良好な滞在環境の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
附帯施設の充実度	カフェ利用者の満足度(%)	61.2%	62.8%	102.6%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は達成しているが、指標値が低いため、満足度は7割に満たない状況(満足度は利用者中の割合)。 ・アンケートにカフェのボランティアの私語に対するクレームがあり、注意喚起を実施。 ・限定スイーツの積極的な企画など、職員と連携し実践。
	ミュージアムショップ利用者満足度(%)	64.3%	66.7%	103.7%		
	事業者と協力してのサービス向上の実践					
館のホスピタリティ	館内スタッフの対応に関する利用者の満足度(%)	83.8%	86.1%	102.7%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに、監視のヒールの音に対するクレームがあり、マニュアル等の見直しが必要。また、展示室内でのコンサートの音やイス撤収時の音へのクレームがあり、あらかじめ入口での演奏時間の周知や撤収時間をずらすなどの対応が必要。 ・アンケート記述を随時共有するとともに、ファミリータイムの設定や絵本コーナーの設置により子育て世代も利用しやすい環境を整備している。ただし、絵本コーナーの利用率が低いため、利用増につなげる工夫が必要。 ・外国人来館者のホスピタリティ向上のため、館内の観覧料表示・各案内表記、屋外の掲示板等に英語表記を追加するための準備を行った(平成31年4月から運用開始)。今後は英語以外の外国語表記のほか、外国語を話せるボランティアの導入等の検討も必要。
	ホスピタリティ向上に向けた取組					
施設環境の保持	施設内外の環境への満足度(%)	83.1%	75.3%	90.6%	c	<ul style="list-style-type: none"> ・館内表示、清潔さ、スタッフ対応、図書コーナー、ミュージアムショップ、カフェ、絵本コーナーの満足度の平均値。 ・来館者からトイレの洋式化の要望。 ・施設・設備の修繕等については、冷暖房設備改修工事、エントランスポーチ修繕工事が終了。懸案であった屋外彫刻作品の一部修繕、収蔵庫作品保管棚の一部整備も行うことができた。展示パネル壁や収蔵庫作品保管棚及び屋外彫刻作品の一部の整備・修繕は先送りになっている。 ・業務委託職員、ボランティアと連携しながら避難訓練(火災)を実施しているほか、安全管理マニュアルによる危機管理の徹底を図っている。
	施設安全性保持のための必要な措置					

【基本的運営方針】 Fの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	<p>社会教育施設としてのサービス提供、ホスピタリティの視点からは概ね目標を達成している。</p> <p>施設・設備、屋外彫刻作品の一部整備・修繕を実施することができたが、展示パネル壁などは未着手の状況。</p> <p>外国人来館者のホスピタリティ向上のため、外国語表記の充実や外国語を話せるボランティアの導入等の検討が必要。</p>

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E